

「沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会」(第3回)の開催及び

転覆した栈橋の鹿児島県錦江湾への到着について

記者発表資料

平成26年3月30日に発生した沖ノ鳥島における栈橋本体の引出し作業中の転覆事故について、本事業の実施主体である国土交通省関東地方整備局は、本事業を安全かつ確実に遂行するため、有識者で構成する「沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会(委員名簿は別紙1参照)」(委員長:間瀬肇^{ま せ はじめ} 京都大学教授)を設置し、事故原因の究明と再発防止に向けた検討を行っています。

第3回検討委員会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. 開催日時:平成26年5月29日(木)13:30~17:30
2. 開催場所:横浜第二合同庁舎 2階共用B会議室
住所:横浜市中区北仲通5-57(別紙2参照)
3. 議事次第(案)
 - 1) 委員長挨拶
 - 2) 議事
 - ・第2回委員会の議事概要の確認
 - ・栈橋の現地調査
 - ・転倒メカニズムの検討
 - ・今後の予定

また、5月13日に沖ノ鳥島を出航した栈橋につきましては、5月28日(水)17時頃、鹿児島県錦江湾喜入沖に到着見込みです。(気象・海象条件により変動あり)

※委員会については非公開としますが、冒頭より委員長挨拶まではカメラ撮りが可能です。

※受付は13:00から1階庁舎内郵便局前にて開始します。

※委員会終了後、委員長より議事の概略を報告する予定です。

※議事の概略報告は、13階132会議室にて行います。(受付は17時45分から行います。)

※議事の概略報告の際、カメラ撮影はご遠慮ください。

※議事の概略報告は、18時00分から18時30分までとします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ
東京都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

※本資料は関東地方整備局HPにも掲載されております。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/index00000003.html>

問い合わせ先

所属 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

担当 阿部(あべ)、小笠原(おがさわら)

電話:045-211-7422 FAX:045-211-0204

鹿児島現地連絡担当 戸部(とべ) :080-1055-5985

石橋(いしばし) :090-1250-7450

「沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会」

委員名簿

| | | | |
|-----|------------|------------|----------------------------|
| 委員長 | ませ 間瀬 | はじめ 肇 | 京都大学防災研究所沿岸防災分野 教授（海岸防災工学） |
| 委員 | すずき 鈴木 | ひでゆき 英之 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授（造船工学） |
| | よだ 依田 | てるひこ 照彦 | 早稲田大学大学院創造理工学研究科 教授（構造工学） |
| | たかはし 高橋 | しげお 重雄 | (独) 港湾空港技術研究所理事長（海岸工学） |
| | こいずみ 小泉 | てつや 哲也 | 国土技術政策総合研究所港湾研究部長（港湾設計、海象） |

(敬称略 順不同)

事務局 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

横浜第二合同庁舎 ご案内図

(住所:横浜市中区北仲通 5-57)



- ・みなとみらい線「馬車道駅」 4番出口すぐ
- ・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町駅」 徒歩 7分
- ・JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」 徒歩 10分